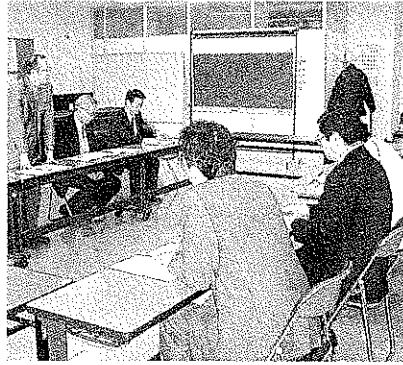


### 第一回稚内土現経営効率化推進協

## 今後の取組を確認

### 短期企業研修など審議



開会に当たり神原会長があいさつ。昨年実施したふれあい土木教室について「小学生百四十人程度に参加してもらった。業界には子どもたちに夢を与えるような取組をしていただいたいことに感謝する」と述べ、十八年度以降も地域の活性化に資する取組を積極的に進めていく意向を示すとともに業界の協力を求めた。

【稚内発】稚内土木現業所建設業経営効率化推進協議会（神原一雄会長）は十二月二十七日、宗谷合同庁舎で第一回協議会を開催した。写真＝。協議会設置要綱を承認したほか、短期企業研修や優良現場代理人表彰などを話し合い、十八年度からの取組方法について協議を進めた。

続いて稚内建協の藤田幸洋会長があいさつに立ち、「協会としては、どうしたら生き残れるのか模索した一年だった」と振り返った。

た。経営効率化については「本来は業界が考えなければならぬこと」と話し、検討の場を設けた行政側に感謝の意を表した。続けて「真に求められる建設業を目指して取り組んでいきたい」と今後の活動に意欲を示した。

議事では、協議会設置要綱が承認されたほか、今後の取組について確認。建協側が設計協議簿の提出箱設置など三点について要請。設計協議簿の提出箱設置については、提出箱を設置するだけでなく、監督員から現場代理人への声かけを求めた。職員の短期企業研修については、先行実施

した旭川土現の結果を考慮した上で対応することを表明した。また、十八年度から実施を検討している優良現場代理人表彰については、等級ごとの表彰ではなく、全体から表彰するよう要請した。